

13

中山敦支



★この作品は、デジタル配製用に再編集を行ったものです。



NEJIMAKI
KAGYU 13
ATSUMI NAKAYAMA

物

召

介

「生徒のためなら死ぬる」
その金言に答へると、
生徒会が涙い

新米高校教師・黒沢 蘭

「お前になつたお前になつたお前になつた」

幼い頃にその言葉を
聞かされた黒沢 蘭

蘭の生徒と、その生徒の
蘭の生徒と、その生徒の

力がある、その生徒の
力がある、その生徒の

力がある、その生徒の
力がある、その生徒の

力がある、その生徒の
力がある、その生徒の

黒沢 蘭



三千 抄

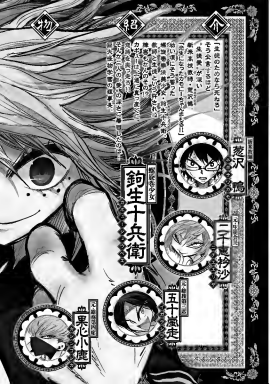


鉤生 十兵衛



五十嵐 走

果心 小鹿





なんと彼は、エロティックな愛情を持てる
異端な組織の神官長だ……

理事長の目的は、愛を伝えること。

愛情を証明すること。

彼にとって、学園は愛情実験場。

彼は本性を知った方々は驚愕。

「彼を救ってあげる」と宣言。

理事長のルーツを知り、
理解する為に出る。

しかし、待っていたのは、
彼の教師としてのルーツ……

理事長



ガガリ



マルマ



森



第百十九話
第百二十話
第百二十一話
第百二十二話
第百二十三話
第百二十四話
第百二十五話
第百二十六話
第百二十七話
第百二十八話

5 23 42 61 79 99 119 137 155 173

歓迎
闖入者
遊戯
ねじまきVSジグザグ
二千恵セキユリティグループ
弱き者苛む
怒りのスイーモ
自立への思考
喜びのモアヴ
おちる

NEJIMAKI
KAGYU

ねじまき
かぎゅう

NEJIMAKI KAGYU



13

プ

★この冊子は127ページです。定価は1冊108円（税別）に13.1%の送料が加算されます。



第百十九話 歓迎







あの山の頂（いただき）に建つ
二千恵家別邸

そこに
鈴沙ちゃんのお母様
そして

ゴウン、ゴウン

ゴウン

第百十九話 歓迎



二千馬車は
この島を所有する
豪族なの



この結末は
二千馬車の中に
隠れている

何があるか
わからない



だから皆十分に
警戒して



あの二千馬車屋の
ことだから
何か仕掛けているのは確か



カモキユンの恩師でもある
小島風蘭（こじまふうらん）さんが
いるらしいわ





なん
なんでそれ…?

え？
あ
やっぱり！

だってあそこ
目当てのお客さん
多いもん

観光用に
開放してる御屋敷も
あるくらい立派だしが

は？

観光用…？

え？

そうなの…？

うん

島先生…
二千も家別建てって…
本宿にこの世所で
間違いないですよわ…？

あ
合ってます…？

観光用って…？

なんだを説と通うわねえ！

どの道今日は
もう遅いよ！

今から
二千恵きん家
登って行けば
夜になっちゃうし

うち民宿やってるの
泊まっていつて
明日の朝登っていけばいいよー！



遠い処から
ようこそおいらへななを呼んでた

大したおもてなしも
できませんが
どうぞごゆっくり



これッガ
お客様の前でなんてこと...

あたしも
つれてきたーノ

おははッ
ほらッ
ちゃんと実演してきたぞッ

おこっかいくれる
約束ノ





とん

よりい

カギュー

お前かよ

つかお前
屋たのかよ

全く存在感
なかったツス

……
元氣ねーな

とん

狭いな
世界は

傑作ツス

アハハハ
持沙様のお母様は
カモ先の初恋の人
だったのか



19



100

3

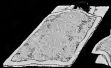
11

Figure 1

100

あまのりにも
神々しうぞて
西洋絵圖あたりから
描き出して来たのかと
思つた





高良金福暗殺者

おばば
うまく焼けたら
おこづかいだよわね？



御門だよ



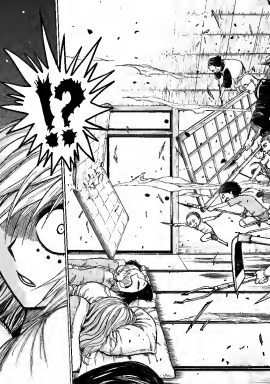


第二百三十話 幽人者





第二百七話 闖入者



子供たち

殺って
お終い

さっさと
殺して

あんなに
一人居る
園内は
日本人が
ええ……
園内



アハハハ
アハハハ

アハハ

んえっ？

クッ

!?

ミナミ





カツー



いつまでも…
守られてばかりじゃないぞ

カモキユンの
初恋の人なのよ



やめろ

もう
うたうた
考えるのは

しやめり
しる

胸生十兵衛



はじめから
己のやることは
一つしかない、
じゃないか

カモ先生の
ために
働く

働く

そのためだけに
己はあの日
生まれたんだ





うーん...

バケモノかッ...!!!



ファン！
奇襲にや一瞬
ビビッたが

そんだけだ！
口ほどにもねー雑魚共が！

あーッ

自分らも
超特訓した甲斐が
あるッスね
小悪アガ



悪うな
それ置つたら
タツグセムだろ





わしらだって
こんなことは
したくない

もとは
ただの島民
だったのだから

産業の先細りも
過疎化の止まらない
わしらの島を
救ってくださったのが
三千恵様じゃった

島を買い取り
留に新たな仕事を
与えてくださった

島にきた人間を殺害し
命が下れば消すよう
押せつかった

そうして
島は豊かに
なった

仕事
なんじゃよ

農業や
漁業と同じな……

ただそれが
暗殺だったという
だけなんじゃ

悪く思わんで
くれ！

おつい
おんしら

なんやあ
楽しそうなこと
やつちよるのう



6人

6人
ちゆうことは

6回も
遊べるっちゆう
ことじやか

五月蟬介



ニヤハア！
次は誰と
遊ぼうかね？

身代わりアサ郎



NEJIMAKI
KAGYU ねじまき
カギュー 13
VOL. 13
ATSUSHI NAKAYAMA



第二百一十一話 通戦

楽^{たの}す^の

フウ

フ

い

////
=====







「おはようございます」

!!!!

「おはようございます」

「おはようございます」

「おはようございます」

「おはようございます」

その
動は

足踏したやう













おんじき...

焼技を拳の使い手
じゃにやあか...

!?

なッ!?

いんやあ
ナンシヨシ
上がるぜよ

まじか
こおんなヘンデを助で
出資あるとはの

ニヤハハハ

こやああ久々に

本気で遊べるにやあ

み
言正れッ

アッ！

アッ！



利

鬼ごっこ
スタートじゃあ!!

利
利
利



妖怪戦争を
知ってる!?



あいつ!
何者!?



お
おばばから
聞いたことがある!

島には
俺ら島民以外にも

二千歳ほどに
前で居られた
悪魔のブロが
居んでいと!

一 千 恵 セ キ ユ リ テ イ グ ル ー プ

純 度 100 の 殺 し 屋 集 団



僕らが
英雄戦い始めるとすれば
あいつは
英雄戦いし最ニク

僕ら英雄が勝つー
バカモノだー

だが
雷い降よりやあ

それだけ
外に落ちたてないものが
御座るにあるということか……

もーええかい？

まーだだよ

もーええかい？

まーだだよ

もーええかい？

もーええよ





爆走警察……ッ!!

あんし…

ぞけいに私と
遊びたかったが!!

ニヤッハッハア!!

この世で

お前を止めないと
俺には勝てないよ
だから…

だから
戻ってきた!!

先生は己が護る!!!





第二十二話 ねじまきVSシクサク



会いたかったにやあ
螺旋巻拳

第一百二十二話
ねじまきVSジグザク





ぜんまいけん
発条拳!!!





「さっちゃんやうが
私は四輪運動を
無効化できるわ」

「さっちゃんは
あまてつらって
やったんじやで？」

「その方が数万倍
楽しいき……」

「いかに……
螺旋巻……」

「**シュン**」

円頂肘!!!!





か
く
ぜ
ん
こ
う
殻山靠

!!!!
.....





ええぞ
ええぞッ

もったい
もったい
もった私を
壊しませうい

ん？
どうしゆう？

打ち止めかあ？
螺旋巻連珠技



ほんなら
残念じゃが

お開きぜよ



オオオオオツ!!!?

これはツ...

いかん

龍殿さんとナ

吸い寄せ
られるの

外れんツ!!!

ググググ

螺旋巻...

全身を回転させ
自身が台風の目にな
ることです

相手を
超強制的に意図力の
渦に引き寄せ込む!!!

世^{まんじ}

拳^け

!!!!!!

!!



Z
Z
啣
屠

////
////

クッ
クッ



私の
Z/Z拳は

「回転エネルギー」の
流れの隙間に割り込んで
強引に運動を停止・破壊する

そこでこの
Z/Z拳は

ただただ破壊力を
高めることのみを
追求し生み出した技

人体を
複雑に
噛み千切ることで

肉体の治癒を
不可能にする

おんしあもう
助からん

お前…
Z/Z拳…サマ?

お前…

お
娘様と…
どういふ関係が…?

にやは

これから
死ぬるヤアに
教えても
何ならん

異端は異教より憎しじや



…?



壊れちゃった
玩具に
興味なか

悪魔多量で
ジワジワ死ぬると見え

じゃあの



んにや
やつば殺そ





おーい

死ぬる前に
言うことはあるかあ？

第二百二十三話

千恵セキュリティグループ

おッ

死なない…

おッ
己はッ…

カモ先生を…
助るッ…

死んでも護るッ……!!!!

「……」

こーりやあ
魂消た

今から自分が
死ぬるちゅう
噂ん聞まで
他人の心配かい

聞いちよる通りじゃ

轉校生^{バカ}士ちゆうんは
とんでもなく
甘ちゃん連中じゃ



そんで
とんでもなく
めでたい運中だきやあ



A black and white manga-style illustration. In the center, a character's head and shoulders are visible, looking upwards with a determined expression. The character has dark hair and is wearing a dark jacket. A large, stylized, white 'Z' is superimposed over the character's chest. The background is filled with large, stylized, white 'X' marks on a dark, textured background. The overall style is dynamic and high-contrast, typical of manga art.



そこまでにしておけ

ガガリ





忘れたのか

カギムー・カモの
二人は観すなと
二千恵に
命じられていることを

屋敷に戻るぞ
ガガリ



ありやつ？
そうじやつけえ？

おんしの記憶違いじゃ
ねえんかい？

マルマン



もう十分
避んだらもう



クチケチすんなあ
二人中一人くらい

事故ってことで

や

誰でもええんじや
別に私は

サルマン

おんしでもにやあ









こんな時間に
呼び出しやがつて
二千軍のヤロー

颯ーんだよ
お肌が荒れるだろ
コラーゲン返せ!

それもこれも
全部お前のせいだ!!!
ガガリイッ!!

死ね!!! ぶケ!!!
コルア!!!

あ

わあッ
皆集まるの何年ぶりい?
あれん?
昨日も会ったっけよ?

まあいいやあ
皆仲良しで
ハッピーだからいいやあ

おれは
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは

私あもう
遊び疲れたき
寝る

ダッナイぜよ

コルマアアア
ガガリでめえいつも
寝ずきつぞアア
寝すぞアア

今寝すぞアア
すぐ寝すぞアア

よせ

口論を
している
暇はない

現時から人

今度肉かっ
てきている

あッ

マアア
まだる人も
生き残つてんのをアア

奴等は
お前たちに
任せろ

島民に追われている故
先回りできたが
じき到着するぞ

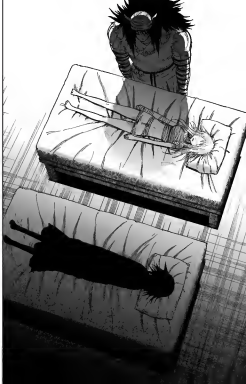


はしめるぞ

暗殺の時間だ









NEJIMAKI
KAGYU ねじまき
カギュー 13
Vol. 13
ATSUSHI NAKAYAMA



二千恵セキュリティグループ？

第二百一十四話
弱き者苛む





くおえてそのりんは
理事長が行っている
実験の機械体

あの島自体が
花は桜木学園とは別の
もうひとつの実験場なのよ

実験？

もちろん

そして
その実験は
誰々と
成果を上げる

理事長は

もともと悪魔だったヤツらを
危険極まる大悪魔に変えたのよ

ふうん
それで今
理事長はどこ？

留守だったよ

あたし
研究所の保護に
きたんだけど……

それは
私も知らない

でもあの人はあの人で
何を聞いてもみたい
何するの聞いてないけど……

……お姉ちゃんて
野心なところで
ホント便利じゃないよね

無敵を頼って書いて
暇大づもって読んでいい？

ちょッ……
何それ
聞かない？
聞かない？

鈴沙様あああああ

////

返事をするツス
よおおおおお

////

オオオオ

鈴沙様
どこッスかあああああ

////

うるせえが
もう黙れが

ハニワタではぐれたんだ
鈴沙様もきっと不安でいられる
あたしたちが取り巻いてもらうよ!!





うっ

ボロボロ



うううううううう

ボロボロ

ボロボロ

おいッ！
何泣いてんだよ！

泣いても
竹沙様は
見つからねーだろ？



カギユーらに
敗けたのだから……！！
自分をもっと
竹沙様のお考えを
全うできていれば……！！



自分の所為サス……！！

自分が不甲斐ないから
こうして
竹沙様を見失って……



あ？

マジで
アメイのせいだと
思ってたのか？

そういうところが
タソだったってんだよ
自惚れんなタコ

カギューらに敗けたのは
あたしの所為だ…

あたしがもっと
心を絞し特沙様の道具に
徹し切れていれば
こんなことにはならなかった…



テメーは
死ぬまで囁いて……ッ



どっちが
自惚れヲスかッ



お前だッ



強くなりたいです

!!!
.....



ワッ

ワッ

湖ッス

向こうのほうから
川になってる

ここは
この島の水源地かな

湖面に何か
たくさん
浮いてっぞ！

なんだ？

暗くて
よく見えぬえ…

ん？

ジュッ！

ひ
人ツス!!!

これ皆
さつきの島民ツスよ!!!

ハッ
ハッ
ハッ

まだ生きてる...!!

今助けるツス

大丈夫ツスがある











!?

体型がッ…!!?

打ち撒けつぞ鬱憤
コラ!!!!

二千恵セキュリティグループ
怒りのスイーモ





NEJIMAKI
KAGYU ねじまき
カギュー 13
Vol. 13
ATSUSHI NAKAYAMA

水中

クツン刺きやすすぎたろッ!!!

刺めてんのかワ

なあ

刺めてんのかよッ

おいッ 水ガ

コッソリッ

殺すぞとッ

私の身体

水圧で

縮みやすすぎたんだよ!!

スピードもパワーも

クワッ増し増しで

命も減ったろッ

本領発揮出来ちまったろッ!!!

一流の殺し屋の私がッ
てめーらみてーな
クッソスイーツな〜ド〜ときによオオオオッ!!



クルア!!!!

上がらせつかボケエツク

溺殺に

してやんよ!!

なんのために
テメーを来魔くんたりまで
引き摺り込んだと
思ってたコラア!!

理解力の乏しい
ガキの相手は
これだから
痛つくんだッ!!

クワソ苦しんで
死ぬコラ!!

竜宮の檻

!!!!

「お前、何でこんなところへ来たんだ？」

「お前、何でこんなところへ来たんだ？」

「お前、何でこんなところへ来たんだ？」

「お前、何でこんなところへ来たんだ？」



あいつの動きを……

自分を聞かすために
超常位好
状況なのだ……

しるしの……
……

……

小龍を
誘い込もうと
してるッスか……?

脱出するんだが……

自力で……

じゃなきゃあ……

また自分の無力さの所為で
崖の足を
引っ張ることになる……か

……

最悪
ツ
ス
よ
ッ
!!!!

ド

リ

ああああッ
ハズレ引いちゃった
じゃねーか!!

ヤ

また
だッ

ド

もったなしの勝負のありさまは
ヤッてんだって
聞くんか?

ガ

また
アッ

聞くんか?

聞くんか?

自分
なんで
弱いんか?

天う

情けないんか!



ばッ

馬鹿アアアアア!!!

なんてきたッスかアア!!!

戻たって
わかるだろ!!!

助けにきてくれたのは
姉しゅけー!!!

小龍まで
死なしたるわな
自分!!!

自分は!!!



お前が泳げないこともな

なら飛び込む以外ねーだろ
コ

コ
泳
泳

水溜りの上なんだよ

現なんてのは

あああああッ

奇つくッ

奇つくッ

奇くて奇つくッ

お前フルフル奇つくッ

体長しこよし奇つくッ

計画通りに
行き過ぎ

奇つくッ

カルシウム足んねえ

奇つくッ

奇つく自分に

超奇つくウウウッ

あいつを突破して
地上に出ッぞ

こんな時化たトコで
くたばりたくねー

む
整理タスよッ

いくら小鳥でも
ここからは
出れないタスッ

うるせー
出れるノ



泳ぎの練習
教えてやるよ



水の中で
火ッ!?

喉ベタッ!

いくぞ

こいつを
閉きすんのに
時間いっちゃった



水中松明

うおおッ

!!

何ッ!?

とんでもねー
爆裂加速ッ!!!

すっげー
強い風ッス!!!

これならッ……!!!

馬鹿がッ!!!

関子に乗るな
クソ共オオ!!!

水中は私の
領域だッ!!!

何人にも
抜かせねエぞゴルアッ!!!

ぐん……!!!

今だ

左右の脚を
交互に動かせ

めいっばい
死ぬ気でだ

死ぬ気
イイイイイイ

シヤラポ

アアアアアアアツ

そう
それが
極意

バタアシ
だ

!!?

恭



HIO



なにそれ？

なにそれ？

なにそれ？

なにそれ？

なにそれ？



超強いツス…!!



じゃあ
あいつ倒したら
あたしら強いかな?



押忍ッ!!!

二人で
超強くなっか!!

あいつをぶっ倒して
超強くなるぞ!!

押忍ッ!!!



そんで
あたしが
神妙様をお祭りする!!

ズリイッダ
それは自分の
役目アス上!!



第二百二十六話 自立への思考





超
級
水
砲

い
ま
ど
ろ
い

ヤベツ……!!!

ゴルルアッ!!!
クッッッ!!! 共オ!!!

クッッ 盛めた真似して
くれてんじやねエーぞ
ガアア!!!

ぞつん!!!
睨すッ!!!
クッッ 勢す!!!

ハチもヒツクリの
ハチの真にしてやんぞ
ゴルア!!! ゴルア!!!

なんつう破壊力マスかア

こりやあまだ
水中のほうが
安全だったかも……

おい!!
タコ走!!
モタモタしてんな!!

なんスか
その言い方ア!!

早く
言った通りに動けよ!!
このまま全滅してエのか!!

いつ自分が
お前の命令を
了解したラスかア!!

もういいラスよ!!

自分は自分の

やり方でいくラスから!!

ハア!?
何言ってるんだボケ!!

デミーがカナツチだから
あたしがいくしか
ねーんだろーが!!

おい!!人を勝手に
お荷物扱いすんなア!!
この差別主義者!!!

もう小隊には
頼まぬラスよ!!
バーカ!!

コノヤロー!!
勝手にする
タコツガ

あッ



7

一、**一、**



逃げないなら
逃げないならの
戦い方があるアスよアア

当たれエツ!!!

砲丸投げッ!!!

ボ
ボ
ボ





クルンッ

さっけんなあ
奇つくり奇つくりな
あんの
クワガキオオオオ...

ファイ

フエイクかよう

ーんたよう

ブツ殺^{ころ}



合図

キタア——

ツ
!!!!

クラゲの一本釣りツス
!!!!



!?

……ッ

まさか……ッ

ゴ

ゴ

もつと上へ
飛んだ

あたしが
落った時に

ゴ

お前も
合図くらい
出すツスよ

わさともめていたのが……ッ!!?

馬鹿がツツツ

!!!!

標的のほうから
近づいてくれるたあな!!!!



いくぞオオ!!!



準

天馬廐疾



おかげで
クッソッソ楽てやしく
なったぜ

超
級
水
砲

////
////
////
////
////
////

がッ!!!

死ぬッ
ボケエッ



衿沙様っ……



自分は……

あたしは……



白蛇さん……

白蛇さん……

でも……
もうあなたに
頼りきったりは
しません……



……おとめ……

……おとめ……



だって
これから……

仕込み
炸裂手裏剣

孔雀

!?

ぐアッ

これから

あたしたちが
あなたを
護る番なのですから!!!

うおおおおおおおおおお

火紋龍





第百二十七話 喜びのモアヴ





捕まえろオツ!!!

シキマさんなアガ

アメエ
押すなけ
脱す気かサガ

!!

うおおああ
あああああッ!!!

時おぢちゃん!!
連れマ!!

やあああッ

何か様子が
おかしい……?

スキップ
スキップ

これは僕らを
何りにきている
というよりも……?

うわーうわー

ほらほらあ
がんばって
握まるようねえ

そして皆で
祝福したけよあ

あの二人の
とびきり
素敵死に☆

ニキ恵セキュリティグループ
喜びのモアヴ





ひんげさ

おれんげさ

СЧАСТЛИВО☆

(あなたに幸あれ)

どおして

人の死を目の前にしちゃうと

こころな麻かな

気持ちになるんだろうか?

不思議い〜

はいはい、い

ごめ

そんな感じ願ってます

毎日毎日

運まらねた人は

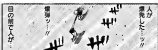
約束通り

現うちに帰してあげる

からねえ!

フアイト
フアイトお!

あ?



くそッ

冷静に
なれ!!

僕が優先すべきは
敵に逆上する
ことじゃない

何があっても
生徒を
守りきることだ!!





どうせし
お別れの時間だよ

かけがえない
一生涯の
あなたたちの死に
立ち会えたこと

モアウちゃんほ
一生忘れまっせん



ほらほらあ
あの人か
ちやいんと
選ばれるように
あ手伍いして
あけてる



逃げられない...

時勢ちゃん

戦うしかない...!!



僕のこと

応援してくれないかな



パパ
がんばれ!!

パパ
がんばれ!!

パパ強い!!

僕は強い!!!





待てよ

そもそもあの子は

僕たちに

何を望んでいるの

僕たちを

殺すことはできたんだ

人間爆弾を

使うくらいだ

僕でも張れば

それこそ

いとも簡単に

なら何故
姿を見せた？

何故
接近し続けた？

子供のころお...

花火つてさあ
あんなに綺麗なのに

なあんで
ちつと近くで
見れないんだろって
思わなかったあ？

人が弾け飛ぶ様を
出来る限り近くで
観るための!!

こころ
モアウちゃんの
特等席いい

紅蓮の抱擁









第百二十八話 おちる







次こそ
あなたを殺すぞと
決意したらしい

まん
び
び
び

今
あんなに
おどろいた

!?

かつ
身体が動かないっ……!!

リミッター解除の
反動か……!!

首から下の
感覚がない……

自分の身体じゃ
ないみたいだ……

こんなにも……

負荷のかかる
もののなかっ……!!

これじゃ
戦うと……か……

さ……ん

鈴芽ちゃんを
護ること……

だからなんだ

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

鈴沙を二度も死なせるかッ

!!!!

わあー

黒髪紅衣

高いのやだ...

高いのやだ...

足ーい

ガッ

ガッ

やだ...

やめるよ...

くるな...

いっちょくるなア!!!

ビッ

ビッ

ビッ

うっけ



あちや

スしたあ

ドゥー
ン





キヤアアアアアアアアア





もう二度と
君を殺りきりで
落とさせない

キエ

ワ

裏切らない

死なせない



うわぁぁぁ
シヨマツッ

手元が狂っちゃって
おの子たちの顔が
近くで観れなかつたぁ

サビ

まあ
しょうがないかな

よし
他の標的
探してみよう

ばん、

今ならまだ
隠れを境目に
できるかもあ

切り替える早いところか
ミヤウさんの顔じゃ

まんぱつ

サ



① 30 41 42
蹴
け

!?

肉体労働は
不得手なんだよ

やれやれ

ねえ
年子





ボクに狼藉を働いたこと

嘔吐くほど後悔させてあげる

NEJIMAKI
KAGYU ねじまき
カギュー

VOL. 13

ATSUSHI NAKAYAMA



13







コーヒー牛乳
飲むために
決まってるッ

大馬

驅疾!!!

牛一

三才圖會

李 强 王 强 张 强 赵 强



あつた

////
////











ねじまきカギュー

13巻

中山敦文

© 中山敦文 2014, 2014

初版発行 2014 年

デジタル版発行 2014 年

発行所 集英社

<http://www.shueisha.co.jp>

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。